

1～4号機は燃料の安定冷却を継続しています。発電所の最新状況やさまざまな取組みをお知らせします。

2018年8月1日 発行

■ 本号の内容

- 「全号機を廃炉の方向で検討」を進めてまいります
- 発電所トピックス ～塩分除去装置による濃縮海水処理を開始しています～ ● 発電所構内の空間線量
- 燃料の保管と冷却状況 ● 地域とともに ～楡葉町に「ここなら笑店街」がオープンしました!!～ ● 発電所データBOX



福島第二原子力発電所周辺の水田風景（富岡町）

「全号機を廃炉の方向で検討」を進めてまいります

6月14日、当社社長が福島県を訪問し、知事との意見交換の中で、あらためて福島第二原子力発電所の廃炉をご要請いただきました。

当社社長は、就任からこの1年間、福島県への訪問を重ね、地域の皆さまのご意見を伺ってまいりました。当社として福島復興を加速させるためには、福島第二原子力発電所を福島第一原子力発電所の廃炉とトータルで地域の安心に沿うものとするべく、全号機を廃炉の方向で具体的に検討を進める旨お伝えいたしました。

今後も関係する皆さまにご説明し、ご理解、ご協力をいただきながら、しっかりと検討を進めてまいります。



福島第二原子力発電所長として

福島第二原子力発電所の全号機を廃炉の方向で検討している状況ではありますが、発電所として使用済燃料プールに保管している燃料を安定冷却し続ける重要性に変わりはありません。

地域の皆さまにご心配をおかけすることのないよう、設備の維持・管理、安全確保に尽力いたします。

引き続き、福島復興への責任を発電所一体となって果たしてまいります。



たけお
所長 石井 武生

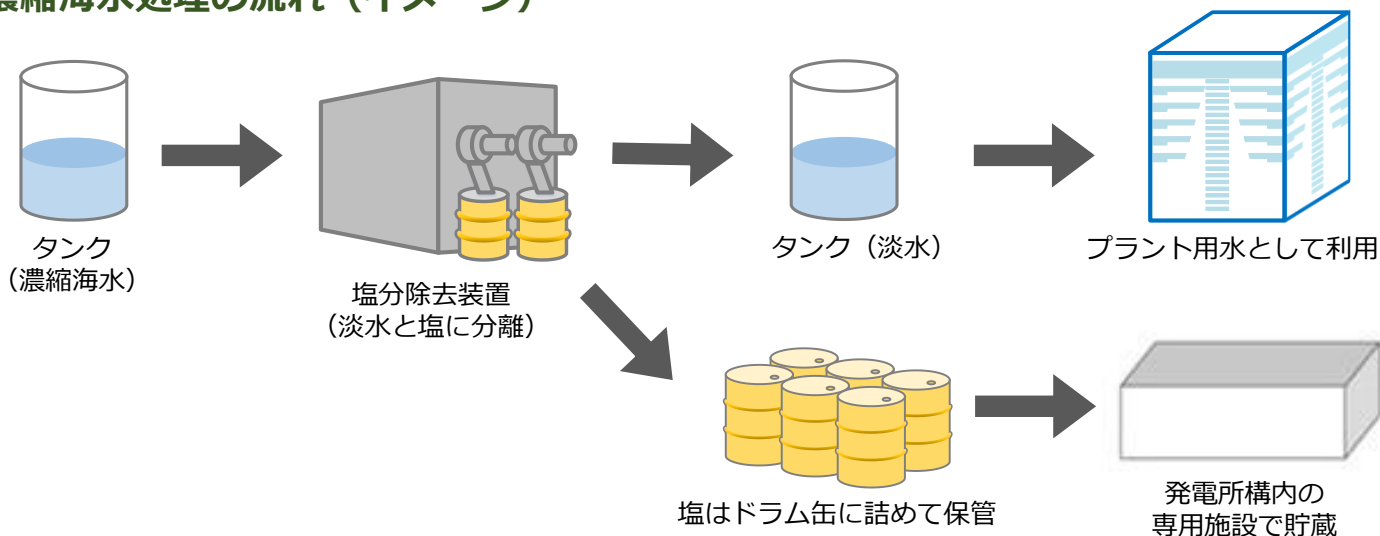
発電所トピックス

塩分除去装置による濃縮海水処理を開始しています

東北地方太平洋沖地震に伴う津波により建屋内に流入した海水等については、放射性物質の除去ならびに淡水化処理を行い、処理後の淡水はプラント用水として利用していました。また、処理の際に発生した濃縮海水（約2,000m³）は、構内のタンクで保管していました。このたび、濃縮海水を淡水と塩に分離させるための塩分除去装置の製作が完了したことから、7月10日より処理を開始しています。

今回の処理後の淡水についても、プラント用水として利用し、分離された塩はドラム缶に詰めて保管しています。

濃縮海水処理の流れ（イメージ）



発電所構内の空間線量

（単位はマイクロシーベルト毎時）

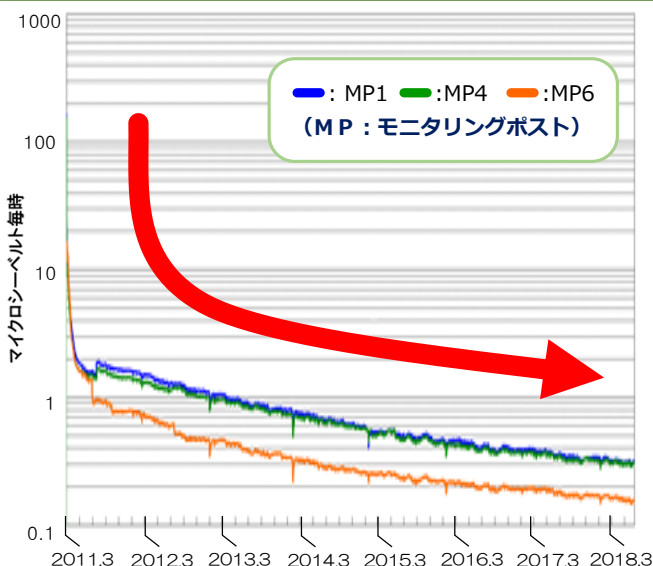
発電所構内のモニタリングポスト計測値（MP1～7）

2018年7月30日 時点

0.10 [MP7] ～ **0.33** [MP1・3]

値は震災後、現在に至るまで低下傾向

震災から現在まで（2011年3月16日～2018年6月30日）



参考データ（単位はマイクロシーベルト毎時）

発電所周辺町村の空間線量

富岡町（帰還困難区域含む）	0.07 ～ 2.23	楢葉町	0.05 ～ 0.26
広野町	0.06 ～ 0.18	川内村	0.05 ～ 0.33

原子力規制委員会 放射線モニタリング情報より（2018年7月30日 時点）

世界の主要都市の空間線量

ロサンゼルス（アメリカ）	0.10	ソウル（韓国）	0.12
上海（中国）	0.59	ロッテルダム（オランダ）	0.33

出典：福島県放射能測定マップより

燃料の保管と冷却状況

- 燃料はすべて、1～4号機の使用済燃料プールで保管しています。プール水は約30℃で安定的に冷却し、常に監視しています。

2,534体	2,482体	2,544体	2,516体
1号機	2号機	3号機	4号機



しょう

楡葉町に「ここなら笑店街」がオープンしました!!

えみ

6月26日、楡葉町の復興拠点となる町役場南側に広がるコンパクトタウン「笑ふるタウンならは」内に公設商業施設「ここなら笑店街」がオープンしました。

6月30日にはオープニングセレモニーやお笑いライブなどの記念イベントが行われ、小さなお子さまからご年配の方まで、たくさんの笑顔があふれていました。



「ここなら笑店街」には食品スーパーやホームセンター、飲食店、クリーニング店、美容院、コインランドリーなど10店舗が入居しています。

当社社員も駐車場の車両誘導をお手伝いさせていただきました。



発電所データBOX

福島第二原子力発電所で働く人は2,518人*です。(2018年6月1日現在)
* 1日当たりの入構者数は約1,200~1,300人

	東京電力HD	協力企業	合計
県内	394人	1,762人	2,156人 (86%)
県外	53人	309人	362人 (14%)
合計	447人	2,071人	2,518人 (100%)

編集後記

ふたば未来学園の高校生が、大手定食チェーンの大戸屋さんと試行錯誤を重ねて共同開発した新メニュー「福島満足定食」が、10月から期間限定で大戸屋各店舗にて提供されることをご存じですか？

この定食には、ふるさと福島県の“浜通り、中通り、会津”の郷土料理が盛り込まれているそうです。

私もぜひ、食べに行きたいと思います。【和】



福島復興への責任を果たすために、福島第二原子力発電所は燃料の安定冷却を継続してまいります。



福島第二原子力発電所の
ホームページもご覧ください。

<http://www.tepco.co.jp/nu/f2-np/index-j.html>

編集発行責任者：

東京電力ホールディングス株式会社

福島第二原子力発電所 広報部 企画広報グループマネージャー

〒979-0695 福島県双葉郡楡葉町大字波倉字小浜作12

TEL 0240-25-1353 (受付時間(平日)午前9時～午後5時)

fuku2kouhou@tepco.co.jp (受信専用)